

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成28年3月14日（月）～平成28年3月20日（日）〔第11週〕の感染症発生状況

第11週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.04人と前週（17.46人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.55人と前週（6.94人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.39人と前週（2.61人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



流行性角結膜炎にご注意ください

流行性角結膜炎は、アデノウイルスを原因とする感染症です。初夏に多く報告されていますが、川崎市では特に昨年末以降、例年をやや上回る報告が続いています。目の充血などがみられた際には、こすらないように注意して、早めに眼科を受診しましょう。

流行性角結膜炎はどんな感染症？

病原体：アデノウイルス8,19,37型など

感染経路：手を介した接触感染

潜伏期間：8～14日間

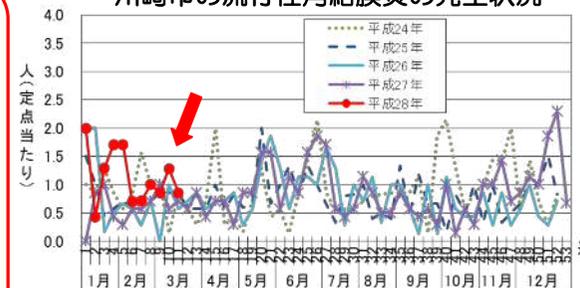
好発年齢：1～5歳を中心とする小児に多いが、成人も含め幅広い年齢層にみられる。

症状：主に涙が出る、目やにが出る、目が充血するなどの症状が出る。乳幼児では細菌の混合感染により重症化することもあり、場合によっては失明することもある。

予防方法：目やには直接手で触れず、ティッシュペーパーなどで拭き取る。手洗いを徹底し、タオルの共用は避ける。



川崎市の流行性角結膜炎の発生状況



「花粉？」それとも「流行性角結膜炎？」

春は花粉症の方にとって目の充血や涙などがつらい時期ですが、「流行性角結膜炎」などの感染症が原因かもしれません。症状が気になる場合には、必ず眼科を受診してください。

